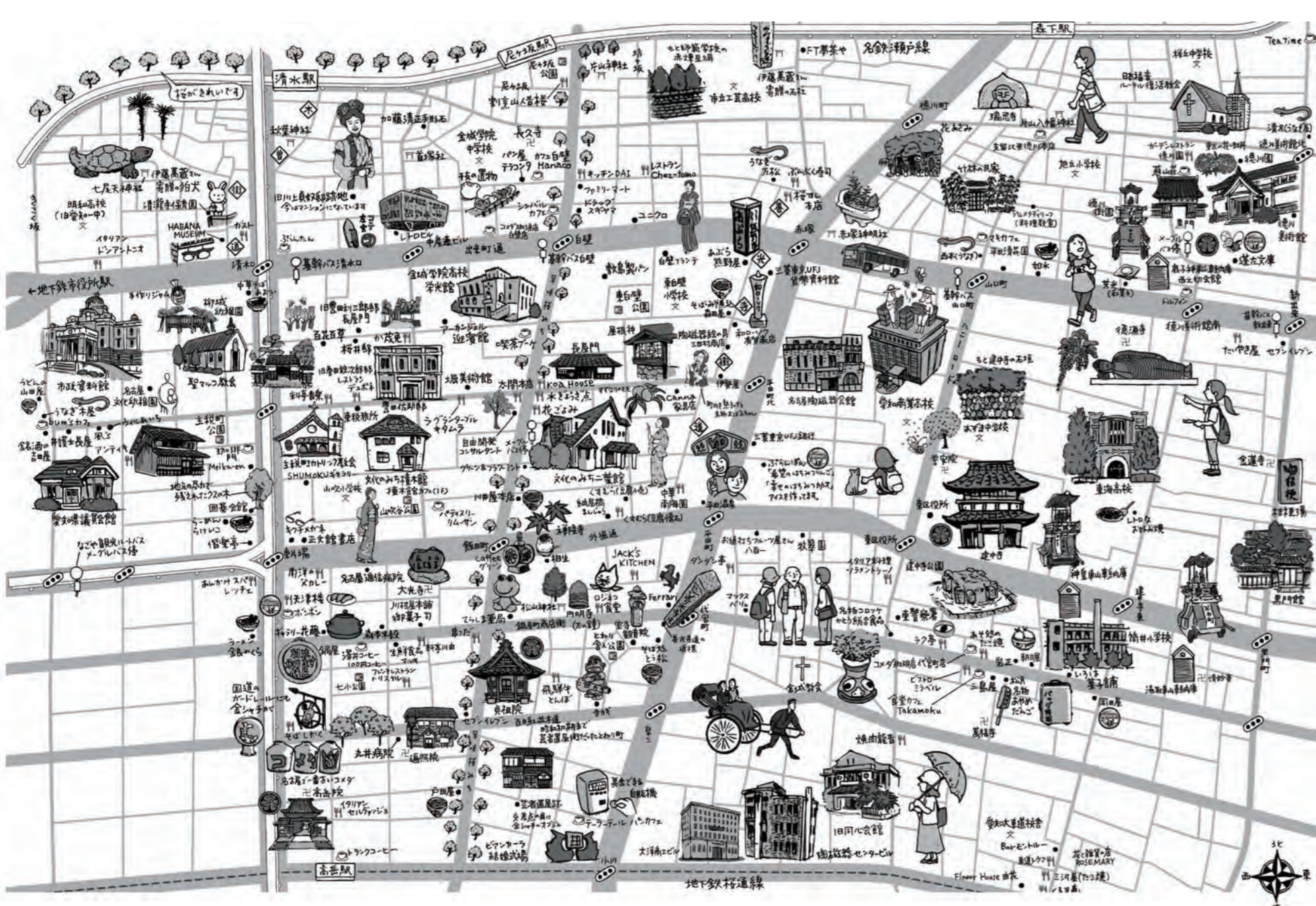


東区まちそだての会

2001年の発足から「文化のみち」を中心にまちづくり活動をしています。



「文化のみち」とは

名古屋城からその東側の徳川園・建中寺にいたる地域を「文化のみち」と称します。江戸時代は中級武士の屋敷町。明治に入ってから成功した実業家の私邸やキリスト教の施設や学校。思想家や文人たちも輩出した文化の香り高い、名古屋の歴史をたどれるエリアです。



東区まちそだての会は西尾典祐氏を中心として2001年に発足。文化のみち榎木館で毎月「ほうじ茶の会」を開いたり、毎年「歩こう！文化のみち」で様々なイベントを開いたりして、文化のみち界隈の魅力を伝える活動をしてきました。

「文化のみち散歩」

2015年に「文化のみちイラストマップ」を発行。この折冊子では、文化のみちの見どころ・エピソードなどを紹介しています。発行から6年めの今年、東区まちそだての会の新たな参加者を中心に「清須越400年マップ」や様々な書籍も参考にした「文化のみち散歩」を始めました。それから毎月、文化のみち界隈を中心に、古墳から現在まで時代を縦断して、名古屋の歴史をたどっています。

「歩こう！文化のみち」 2022年11月3日～27日

文化のみちエリアで芸術鑑賞や販売など様々なイベントが参加施設で開かれます。

歩こう！文化のみち

検索



大政奉還の前年の刻銘



化石をたくさん見られる大理石の施設



日本政府とGHQとの境界柱

<https://higashikumachisodatenokai.hp.peraichi.com/>

東区まちそだての会

検索



「文化のみち散歩」では9月に堀川、10月に名古屋城を散策。ホームページやSNSなどで、文化のみちや身近な地域の魅力を発信しています。